

地震・津波に強い設計を



建設コンサルタント会社の6代目社長。四国の道路や橋の設計、測量、地盤調査などを手がける。地元の工業高校を卒業後、現場一筋で、土木

技術を磨いてきた。

力を入れている事業の一つが、地震・津波対策。南海トラフ巨大地震に備え、建物、堤防の設計、耐震性の調査にとどまらず、様々な自治体の津波避難マップの策定にも取り組み。「災害の被害を0にすることは難しいが、準備をすれば減らすことはできる。一人でも多くの命を救うことが我々の使命」と話す。

2011年6月には、東日本大震災で被災した宮城県石巻市と名取市などを社員らと訪れた。津波で完全に横倒し

になったビルを目の当たりにして「大災害の恐ろしさを思い知った」。被災時、地域、社会のために動くには、まず、自社の社屋と社員を守る必要があると痛感した。

13年に創立50周年を迎え、記念事業として、14年11月、防災井戸や自家発電装置などを備えた新社屋の建設に着工、今秋にも完成する予定。大規模災害時に約1300人を収容できる避難所となり、平時でも住民参加型の防災教室や訓練などを予定している。「地域の安心、安全を守る防災拠点になれば」と力を込める。

第一コンサルタンツ 右城 猛社長 64 高知市